

人材養成シンポジウム開催のご報告

去る10月4日（金）に開催された産総研生命情報科学人材養成コース設立一周年記念シンポジウム「21世紀生命情報科学の飛翔—お台場から世界に向けて—」は、企業関係者、大学関係者など260名を超える方々にご参加いただきました。



今回のシンポジウム開催の目的は、バイオインフォマティクス分野における実践的な研究人材を総合的に養成する「産総研 生命情報科学人材養成コース」の成果のご報告であり、人材インキュベーションセンターとしての当コースの役割を広く皆様にご紹介いただくことでした。

はじめに、産総研理事であり、臨海副都心センター所長の曾我直弘より、また研究センター長で人材養成コース代表者である秋山泰よりご挨拶させていただきました。また文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長・田中敏様、経済産業省製造産業局生物化学産業課長・満田昌良様に御祝辞をいただきました。

人材養成の事業内容ならびに被養成者の紹介として、養成者と被養成者の組み合わせによる口頭発表が行われました。

CBRCからは、

- ・数理モデル・知識表現チーム 浅井潔/金大心
「確率モデル上のカーネル法による配列解析」
- ・アルゴリズムチーム 後藤修/相田拓洋
「ゲノム解析に向けた高精度アラインメント法:PRRNALN」
- ・ゲノム情報科学チーム 諏訪牧子/向井有理
「全ゲノムレベルの遺伝子機能予測」
- ・分子情報科学チーム 秋山泰/福井一彦
「タンパク質およびペプチドの立体構造と機能解析」
- ・細胞情報科学チーム 高橋勝利/菊地進一
「細胞モデルの構築に向けて」

の5組が研究成果を発表いたしました。

招待講演として、東大医科研教授・梅佳之先生にポストゲノム時代のバイオインフォマティクスの在り方について、興味深い講演をしていただきました。

その後、会場を会議室に移してのポスターセッションが行われ、賑やかな雰囲気の中、多くの方々から研究に関するご質問をいただき、セッション終了後にいたるまで活発な意見交換が行われました。午後6時ごろより始まった懇親会では、今回のシンポジウムの成功と今後の人材養成の発展に乾杯が行われ、研究者間の積極的な交流が行われました。

今回多くの方々のご支援・ご協力によりこのようなシンポジウムを開催することができました。この場をお借りしてあつく御礼申し上げます。今後も人材養成事業について、皆様にご理解していただき、有意義に行われた事業と評価されるよう、養成人員の拡大や内容の充実に努めていく所存です。

